



結果を出すには、準備の「質と量」両方に尽力を。



定期試験で90点以上をよく取る生徒は実践していることと思いますが、勉強の成果を最大限結果につなげるためには、塾の授業のみで満足しないことです。塾の授業時間から離れた時間も大切にしましょう。

「塾では学校より難しいことをやっているんだから余裕だ!」、「塾で学校対策をやっているからそれで大丈夫!」は、一つの自信としてももちろん良いことです。しかし、右の例のように思っていたのに実際の得点はあまり良くなかったということはありませんか?もしそうであるならば、原因はシンプルで、勉強量(特に演習)が不足しているということだと思います。「塾に行ってるから大丈夫!」という満足感(悪いケースですと、家で勉強しないための言い訳)で終わらないことが大切です。得点力を本気で求めるのであれば、もっと貪欲に「塾の授業(質)をきっかけに&吸収して、自習(量)も充実させる!」という行動が重要です。周りの同級生や先輩の中で、勉強がうまくいっている人達はそういった取り組みをしていますが?

そもそも、生徒たちにとって、塾の授業時間よりもそれ以外の時間の方がずっと長いですよね。物理的には後者

の時間の方が子供に影響を与える時間が長いわけです。だとすれば、前者だけに力を入れて、後者がだらしなかつたならば、勉強効果が薄まってしまうことは想像に難くないと思われれます。得点力が大幅にアップする勉強の理想形は、「単元内容の興味付け・わかりやすい解説・勉強のコツ」は塾に頼り、それらを武器にして自習でガンガン問題をこなすというスタイルです。このスタイルが確立できると、まずは短期で結果を出しやすい学校の定期試験ですぐに効果が表れるでしょう。

ただ、それ以前にもっと大切なことがあります。それは、「なぜ自分はんばるのだ?」という、生徒自身の内から出る勉強へ打ち込む目的・意志です。急がば回れではありませんが、この点を育むことが一番大切だと思います。

★中学生対象

1学期勉強イベントのお知らせ①

定期試験得点カアップ! 1学期期末対策 英語

2days less

◎6月8日(土)知識編

◎6月15日(土)実戦編

初参加の塾外生:各日1000円

世田谷区立の中学生を対象とした、1学期期末試験対策授業です。開講科目は英語です。初めて授業に参加してくれた塾外生達からも「単元のポイントがわかった!」、「勉強

のやり方がわかった!」という声をこれまでによくいただいたてきました。当日は「解説授業+演習タイム」という形式です。授業の中で、試験に狙われやすいポイントを解説すると共に、自習のやり方もお伝えいたします。今年度最初の定期試験で、さっそく得点力の増強をしましょう!塾外生の方もぜひ受講してみてください。

時間割(6月8日/15日)

中1	15:15~16:30
中2	13:40~15:00
中3	12:00~13:20

★脱・固定観念!

★学部・学科の選び方続編

受験勉強が本格化する中、部活動の最後の大会を迎え、時間管理の難しさを実感している受験生が多いと思います。「この大学でこのことをこんな風に学びたい!」という想いが、長丁場を乗り切るカソリンになります。

★海鮮丼で考える

●ちらし寿司より海鮮丼がポピュラーになったのはいつから?

★文学部系統

文学や文化に着目して、人間の営みを研究する。

●似たようなお店があるけど、店の商標登録はどうやって取るの?

★法学部系統

社会秩序を維持する「政治学」どの関りも大きい。

●海外産の魚の仕入原価は? どういうルートで仕入れているの?

★経済学部系統

経済を通じて社会の仕組みが作られいく過程を学ぶ。

●この美味しさで、この値段: ちゃんと儲かっているのかな?

経営・商学部系統

経営者の視点で、ヒト・モノ・カネ・情報の動きを学ぶ。

●日本の魚の「風評」をミズリドしている国もあるよね

国際関係学部系統

異文化や利害関係を持つ国家・地域同士の共存を図る。

●「メニュー表の写真と違う！」というSNS記事が炎上していたね

社会学部系統

社会と人間をテーマに社会現象を多面的に研究する。

●魚の種類によってカロリーが異なるから、ダイエットには不向き？

生活科学学部系統

衣・食・住を中心に生活の快適性や社会との関わりを学ぶ。

●鮮度を保ち、美味しさを損わずに冷凍する技術って？

工学部系統

自然科学的手法で、新製品・新製法・新技術を研究する。

●栄養成分を豊富に残したまま炊き上がるブランド米を使っている

農学部系統

自然環境から良質の作物を収穫するための実践技術を学ぶ。

●ネタの魚は天然？海のない地域でも魚が養殖されているらしい

水産・生物資源学部系統

生物や生物起源の物質の生産と利用、生命の仕組みを学ぶ。

◎HP掲載 梅草庵 Dairy life

第37話改

「中3生⇨受験生」ではない
 新学期としての生活が始まり、1か月以上が経ちました。充実した日々を過ごせていますか？

GW明けに、この質問を各クラスでもしてみました。今年度

は4月平常授業の最初に、「1日1日を大事に過ごそう。」という意味で「101の法則」(教室入口の上部の壁に掲示してあります)を紹介しました。その時はきちんとわかったつもりでも、本当に実践できていたか振り返ってもらいたかったのです。日々の生活に追われると、たとえ大事だとわかっていることでも忘れがちになってしまいかもしれません。特に「一日一日を大事に過ごそう。」のような、少し漠然としているものだと尚更かもしれません。忘れないためには、一日10分でも15分でもいいから、無理にでも「今日の自分」を振り返る時間を取ってみたらどうかと生徒に伝えました。

特に中3生には一日のふり返り方として「受験生として合格点をあげられるか。」にこだわろうとも伝えました。「中3生として」ではなく、「受験生として」。「こ」が大切です。この話をした時、生徒たちは一瞬ポカンとしていました。「中3なんだから受験生に決まっているじゃないか？」と疑問に思ったのかも知れません。しかし、中3生になれば誰でも自動的に受験生になるのでしょうか？私は違うと思います。受験生とは「志望校が決まって初めてなるもの」だと思います。そして、受験生になるということは、学校生活だけに追われるのではなく、自分の志望校に向けて主体的に取り組んでいくことなのだと思います。

正直、志望校がまだ決まっていないという生徒もいるかもしれませんが、志望校の決め方としては、「通学距離・時間」・「偏差値」・「都立か私立か」・「大学付属校か否か」・「部活」・「雰囲気」・「大学進学実

績」・「制服」など様々だと思います。どれも大切です。ただし、これらに加え、ぜひ大切にしてもらいたいのが「自分はその学校で何を勉強したいのか？どう過ごしたいのか？」「将来どういう方向で生きていきたいのか？」という思いです。中学生段階では中々難しいことかもしれませんが、ですが、大学進学の際には必ず必要になることです。せっかく受験生になるのですから、ぜひじっくり考えてもらいたいと思います。志(望)の火がつきさえすれば、「楽ではないが楽しさもある」受験勉強生活になるはずですよ。

↳1回の授業で大きな発見

小5〜高3生

1週間無料体験

受付中です。

《お問い合わせ 受付時間》

*土曜日・日曜日は、原則休校

◎お電話

月曜〜金曜日

12:30〜21:00

◎ご来塾

月曜〜金曜日

13:00〜18:00

◎メール(24時間受付)

mission@baisouan.com

ご質問・ご相談など、お気軽にお問い合わせください。

(塾長 大川忠広)



★6月入塾特典

「塾内模試7月号」無料！

*特典期限 6月26日(水)

★平常特典

転塾割 (入塾金半額)

*併塾の方も適用できます。